

令和6年度自己評価結果公表シート

庄本幼稚園

I、本園の教育目標

緑いっぱいの環境の中で おもいやりのある子ども 自主性のある子ども 明るく清く正しく素直な心の子どもを目指して ・基本的な生活習慣を身につける。 ・自然に対する関心を抱かせる。 ・丁寧な保育をし、自立心を育てる。 ・思いやりのある子どもらしい子どもに育てる。 ・行事や活動から生まれる達成感や感動を体験する。
--

II、本年度、重点的に取り組む目標と計画(PLAN【目標設定】)

1、非認知能力の向上(行事や活動において) 2、非認知能力の向上(園庭や戸外活動において) 3、認知能力と非認知能力のバランスよい向上。 4、安全への配慮 5、教師としての資質の向上

III、評価項目の達成及び取組状況(DO【取組】)

評価項目	取り組み状況
1、行事や活動における非認知能力の向上を目指して	ア、それぞれのペースで練習し、節目節目で達成感や喜びをクラスの中で分かち合った。個人差はあるが、営めることで興味ややる気が高まるよう、自信を持てるよう、喜びが感じられるよう声掛けを行った。
ア、意欲、やる気、挑戦力	イ、年長になるにつれて集団遊びやルールを守る大切さ、言葉で伝えることの大切さ、出来ない時には友達に助けてもらいながら、困っている友達には手を貸したり周りを見ながら出来る姿も見られた。年少では、自分の思いをうまく言葉にできない子もいる。成長とともに改善されていくのを見守りたい。
イ、協調性、思いやり、責任感	ウ、みんなと一緒にすることで自然と身に着けてきた。単純作業の繰り返し、集中すること、一生懸命に取り組む、努力することの大切さ、頑張ろうとする気持ちになるよう心がけた。話を聞く、待つことができたことをほめる。達成した喜びを味わう声掛けを行った。
ウ、忍耐力、集中力	エ、子どもの力を発揮できるよう、待つ時間を取るよう自分で考え行動できるよう、敢えて見守り、何をすべきかどのように行動すれば、自分で考えるように、環境整備も取り入れ、小さな取り組みも自信につなげていく。
エ、思考力、判断力	オ、続けていくこと、繰り返すことで達成感が得られ自信につなげていく、保育者と一緒に取り組むことでできるようになった喜びが自信へとつながり、周りの人に役立つこと、感謝の気持ちを持てるように見守る。達成出来た時、共に喜び、営める。何度も繰り返し頑張っていることを尊重し自
オ、自立心、感謝の心	ア、各遊具に挑戦し、できるようになって、喜びを伝える。遊具に苦手な子でもその子なりの達成感(喜び)を感じさせるよう周りの子の頑張りや工夫している様子に導くことで、やってみようとする気持ちを芽生えさせる。自分たちで遊び道具を組み合わせ発展させる中で、意欲や工夫する力が芽生える。
2園庭(戸外)活動における非認知能力の向上	イ、交替で遊ぶ姿、譲り合って自分たちで解決しながら楽しく遊ぶ姿が見られた。順番を守る譲り合うことの大切さを話す。思いやりの気持ちが芽生えてきている。
ア、意欲、チャレンジ力、思考力	ウ、遊び道具の貸し借りや譲り合いで思いやり、感謝の気持ちが芽生えてくる。自分たちで遊び道具の組み合わせを工夫したり考えることで忍耐力、順番待ちの気持ち。ごっこ遊びで遊びの展開(発展)、道具の片付け等や感謝の気持ちが芽生える。
イ、協調性、思いやり	エ、天候、季節の変化に気付かせるよう指導する。日々の保育の中で虫にも関心を持ってきた。季節や暦上の行事を通して、また絵本、図鑑や季節の歌を通して体感も含め指導した。
ウ、感謝、忍耐力、順番待ち、片付け	3、それぞれの頑張り認め、能力に応じた取り組みや言葉かけで認知能力の向上と同時に非認知能力の向上もバランスよくできた。
エ、季節感、体感	ア、コミュニケーションをとりつつ体調に気を付けている。手洗いの徹底をする。保護者との引継ぎにより園児の体調を把握。声掛けを必ず、異変があれば直ぐに保護者に連絡。視診はできた。部屋の換気も徹底。
3、認知能力と非認知能力のバランスよい向上。	
4、安全への配慮	
ア、登園時、保育時における健康対策	イ、施設、遊具の週1回の点検、遊び方の指導、監視はできた。総合遊具の点検において痛んでいる部分を発見、即使用禁止にし業者に依頼、修理完了。
イ、遊具の点検と対応	

ウ、通園バス等での置き去り防止対策	ウ、バス2台の警報装置設置、運転手、添乗員、教員の連携と、乗降チェックリストを用い、置き去りを確認を徹底。
エ、避難訓練、不審者訓練	エ、地震、火災、不審者対策、実施。津波も加えた訓練が必要。まだまだ改善が必要。
5. 教師としての資質の向上	ア、感情的にならないよう、威圧感を与えるような大声や口調はできるだけ避け、冷静に丁寧に関わった。園児や保護者の話をきちんと聞き、対応するよう意識している。
ア、園児や保護者との対応は公平性を欠かないよう	イ、一社会人として周りの人への感謝の気持ち心構えを意識している。
イ、身だしなみ、挨拶、感謝の気持ち	ウ、教室、共用部分、園庭も含め、清掃専門のパート2名を雇用し教員の負担を減らした。
ウ、清掃や整理整頓	エ、情報は持ち帰らない、保管や取り扱いに気を付けている。
エ、プライバシーに関する情報の保護、	オ、クラスを超えて対応、小規模園の特色を生かして情報の共有。
オ情報の共有、職員間の協力、連携	カ、夏休み等を利用し、全教員が対面研修、オンライン研修に参加した。
カ、幼稚園教諭としての専門知識や技能の向上	

Ⅳ、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果（Check【達成状況の評価】）

子どもの成長には認知能力と非認知能力がバランスよく育まれることが必要。行事や活動を進める中でその過程が大事で、無理なく計画的に行われ、園児たちが無意識に集中力や忍耐力、協調性等が身についていくことが必要。年間の行事や活動は予定通りに無理なく実施できた。結果も良好で、その過程で育まれた非認知能力も園児たちにバランスよく身についたと思う。一人一人のペースで、全員が同じではない、節目節目に達成感や喜びのための声掛けをタイミングよく行えた。友達への思いやりや感謝についても年少から年長へと成長とともに良くなっていった。

Ⅴ、今後、取り組むべき課題、改善（Action【改善】）

目標の一つである行事や活動における非認知能力の向上については全職員が十分に理解し実行できるよう意識の高揚に努めなければならない。また、常日頃から園児の性格や行動の把握、理解。保育者や保護者からの情報確保に努めなくてはならない。また、認知能力、非認知能力の向上にはバランスよく進めなければならない。園児の健康と安全については遊具、施設の点検や通園バスにおける置き去り防止に今後も緊張感を持ち続け行い、コロナや他の感染症についても引き続き気の緩むことなく感染防止に努めなければならない。

Ⅵ、学校関係者の評価

行事や活動において、その都度考え、話し合い、簡単に中止という選択をしないで保護者の意見を取り入れながら実施してもらって感謝。家庭との連絡も適切に行われていた。子どもの個性をよく把握してきめ細かな指導も良好であると認められた。小規模園こそ可能な情報の共有化や一人ひとりに向き合ってモチベーションを上げる一言もよかった。それぞれの年齢に応じて楽しんでいるように感じた。発展する遊びを見守る先生、楽しんでいる先生、どちらも素敵。遊具の危険な使用方法に声掛け指導に安心。子どもと一緒に行事の練習などでやらされている子どもがいたのを感じた。気持ちにゆとりが無いように感じた。出来ない子へのサポート、見守る先生がほしい。資格のない先生でも可。適切な言葉かけや励ましにより非認知能力の向上は確実に、評価は概ね妥当と認められる。衛生面、安全面において、今後とも気を緩むことなく緊張感をもって対応を、また、更なる家庭との連絡もお願いしたい。

Ⅶ、財務状況

公認会計士監査により適正に運営されていると認められている。

